

スマート林業技術の現場実装ビジョン及び木質系新素材の社会実装 ビジョンについて（林野庁）

林野庁では、林業における労働安全の確保や、労働負荷の軽減、労働生産性の向上に向けた新技術の現場導入を加速するために、令和元年12月に「林業イノベーション現場実装推進プログラム」を策定しました。同プログラムに基づく取組により、複数の遠隔操作林業機械の実用化、デジタル技術を活用した地域拠点の創出、改質リグニンの製造技術の進展等の成果がありました。

他方、これらの取組を通じて、実用段階に至ったスマート林業技術の安全確保や木質資源の高付加価値利用に向けた技術の多様化などの新たな課題が顕在化しています。このことを踏まえ、今後の林業イノベーションを推進するため、施策の体系が異なる「スマート林業技術」と「木質系新素材」に再編した上で、それぞれ、必要性、将来像等を整理し、以下の二つのビジョンを策定しました。

- ・スマート林業技術の現場実装ビジョン —林業の現場に新しい選択肢を—
- ・木質系新素材の社会実装ビジョン

詳細については林野庁ホームページ「林業イノベーション」をご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/index.html>

（プレリリース <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/260330.html>）

—森林発！次世代のバイオマス化学産業をつくろう—



林業の労働安全の確保、労働生産性の向上のためにはICTや自動運転、林内走行等の新たな技術を林業現場に導入していく必要があります。

また、木材から石油化学品の代替品を開発することで林業の収益性向上、地球温暖化対策などに貢献することが期待されます。

新技術の実装や異分野との協業を推進することで“常識”に囚われない「林業のイノベーション」を目指します。

担当：林野庁 森林整備部 研究指導課 技術開発推進室 小川、福島

TEL：03-3501-5025（技術開発推進室）

E-mail: rinya_gikai@maff.go.jp